



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっくい&おおむちゃん

特産品やアプリで

楽しく食育



おいしそうにコロッケを頬張る児童

学校給食に大垣特産のブロッコリー

大垣特産のブロッコリーを使った「カラフルコロッケ」=写真・下=が1月20日、幼稚園と小中学校の給食に登場し、子どもたちが一味違ったコロッケの味を楽しみました。

今回提供されたコロッケは、市が昨年度実施した「地産地消アイデア料理コンテスト」で優秀賞に選ばれた作品。ブロッコリーやニンジン、コーンなどを使い見た目が鮮やかなのが特徴で、ブロッコリーは細かく刻み、苦手な子どもでも食べやすいように仕上げてあります。

食育推進の一環として、全国給食週間（1月24日～31日）に合わせ初



めて実施した今回の企画。市は、今後も地元食材を使った給食などを通して、子どもたちに郷土の良さを知ってもらうとともに、地産地消の促進に向けた取り組みを進めていきます。

アイデア料理コンテスト レシピ集を作成

市は、地産地消アイデア料理コンテストの入賞作品のレシピ集を作成しました。アイデアがたっぷり詰まったブロッコリー料理を、ぜひお試しください。

▶配布場所／農林課、大垣市・上石津・墨俣保健センター（市HPからダウンロード可）

▶問合せ／大垣市保健センター（☎75-2322）へ



Let's try!

市の特産品や市内の朝市情報など、「地産地消」に関する特集記事を本紙6・7面に掲載しています

幼児向け食育指導用のアプリを導入

市は、食への関心を高めてもらおうと、ICTを活用した幼児向けの食育指導用アプリを開発しました。

専用のタブレット端末で使うこのアプリは、ジャガイモやニンジン、お米など日常的に使う食材14品をキャラクター化し、栄養素ごとに3色の食品群に分けて登録。食材にまつわる話題やクイズを取り入れ、それぞれの特徴や調理法などを楽しみながら学ぶことができます。

1月20日、三城保育園では、アプリや本物の野菜を使って、その日に食べ

た給食の食材について学ぶ食育活動を実施。調理員からの話も交えながら、食への理解を深めました。



アプリのクイズに答える園児ら

2月15日号 主な内容

- ▶住宅の新築・取得に利子補給、所得税や市・県民税の申告受付など …2～3P
- ▶16万市民投句、催し、講座のお知らせなど …4～5P
- ▶特集「とれたてを食べよう 地産地消のすすめ」 …6～7P
- ▶かがやき成人学校受講生募集、市民伝言板など …8～9P
- ▶健康ガイド …10～11P
- ▶大垣音楽祭 …12P

大垣の誇りであるまつりが国の文化財という形で評価されたのも、長年、まつりを継承し支えてこられた地域の皆さんや関係者の皆さんの努力と熱意が実ったものだと思います。

私は、皆さんに「大垣祭の軸行事」を実際に見ていただき、その伝統・文化を肌で感じてほしいと思っています。この指定により今年5月9日、10日の大垣まつりは相当な観光客が見込まれます。市としても、より多くの人にお越しいただけるよう、情報発信や観光PRなどに一層力を入れていきたいと思っております。



大垣祭の軸行事が国の文化財に

1月16日、「大垣祭の軸行事」が国の重要無形民俗文化財に指定されることが発表されました。大垣市初の重要無形民俗文化財となり、美濃地方でも初めての祭礼行事の指定となります。

大垣まつりは、大垣八幡神社の例大祭で、1648年に初代大垣藩主の戸田氏鉄公が、同神社を再建したことを祝ってまつりを行ったのが起源とされ、その後、1679年に藩主戸田氏西公から三両軸を賜り、城下10か町も10両の軸をくり出し現在の形になったと伝えられています。

今回の指定は、その大垣藩主から下賜された軸と町衆の軸が併存する形態が全国的にも希少であること、また、名古屋に代表されるからくり軸と、長浜に代表される舞台をもつ芸軸が併存し、東西の祭礼文化の接点となっていることなどが評価されたことと伺っています。



市長のながさき文心
大垣市長 小川 敏